

脳卒中診療科

診療スタッフ

部長 宮崎雄一、吉岡和博

診療概要

2021 年度は、前年度と同じく宮崎・吉岡の 2 名体制で脳卒中急性期の内科治療および脳血管内治療を中心に診療にあたった。当施設はこれまで日本脳卒中学会より 1 次脳卒中センター(primary stroke center : PSC)の施設認定を受けていた(鎌倉市で唯一)が、本年度より新たに PSC コア施設の委嘱を受けた。PSC は常時(tPA 静注療法を含む)急性期脳卒中診療が可能であることが施設条件となっている。PSC コア施設は地域 PSC 施設の中核として 24 時間 365 日体制で機械的血栓回収療法を施行可能な施設という位置づけで、これまでの診療実績を評価され認定初年度より認定を受ける事ができた。

昨年度と同様に新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、感染管理対策室の指示を仰ぎながら臨機応変に救急診療、外来診療、病棟運用などを行った。感染流行に伴い入院を制限せざるを得ない時期もあり、入院総数は前年よりも微減したが、脳血管内治療件数は前年より微増した。年間を通じて大過なく診療機能を維持できたと考える。

診療実績

脳血管造影検査 295 件

脳血管内治療 154 件

tPA 静注療法 47 件

【学会発表】

- 1.宮崎雄一,第 20 回日本脳神経血管内治療学会関東地方会,ランチョンセミナー,吸引カテーテルのネクストステージ -EmboVac の初期使用経験より-,2021.8.
- 2.宮崎雄一,第 37 回日本脳神経血管内治療学会,直接吸引単独と吸引・ステントコンビネーション手技の比較,2021.11.
- 3.宮崎雄一,第 37 回日本脳神経血管内治療学会,ランチ

ョンセミナー20 AIS 難渋症例に有用なテクニック,2021.11.

- 4.宮崎雄一,第 47 回日本脳卒中学会学術集会,Covid-19 仮設病棟での脳卒中診療ー神奈川県臨時医療施設での経験から,2022.3.

その他の活動

- 1.宮崎雄一,サクッと 1hour, 破裂巨大内頸動脈瘤の 1 例,2021.4
- 2.宮崎雄一, 第 31 回 KNISS, Marfan 症候群・慢性期大動脈解離を有し、血栓回収療法を施行した 1 例,2021.4
- 3.宮崎雄一,i-ED コイル座談会 complex infini について語ろう,i-EDcomplex infini の初期使用経験,2021.8
- 4.宮崎雄一,BASICS, 破裂解離性椎骨動脈瘤の 1 例,2021.8
- 5.宮崎雄一,第 4 回徳洲会脳血管内治療倶楽部,破裂巨大内頸動脈瘤の 1 例,2021.10
- 6.宮崎雄一,第 34 回湘南脳卒中研究会, 医療連携報告 維持期医療機関⇄急性期病院,2021.11
- 7.宮崎雄一,Web Seminar 湘南鎌倉総合病院での潜在性脳梗塞の卵円孔開存の診断及び閉鎖治療,卵円孔開存が関与する脳梗塞病態と再発予防について,2021.11
- 8.宮崎雄一,南関東脳血管内治療症例検討会,破裂前交通動脈瘤の 1 例,2021.12
- 9.宮崎雄一,第 7 回徳洲会脳血管内治療倶楽部,巨大頸部内頸動脈瘤の 1 例,2022.1
- 10.宮崎雄一,竹内相談室 2022,破裂後下小脳動脈解離性動脈瘤の 1 例,2022.2
- 11.宮崎雄一,脳血管領域高血圧 Symposium,脳卒中の予防・治療における高血圧管理とエンレストへの期待,2022.3

脳卒中診療科

展望/抱負

引き続き、PSC コア施設として地域における脳卒中急性期診療の中核の役割を担っていく。その為にはスタッフ増員が必須と思われ、脳卒中急性期の内科治療及び脳血管内治療に携わる医師を広く募集したい。来年度は約 12 年ぶりに血管造影装置が更新される予定であり、期待している。脳卒中急性期診療・脳血管内治療の進歩は目覚ましく、最新最善の治療を安全に提供できるよう、スタッフ一同切磋琢磨していきたい。